

アーカイブズ

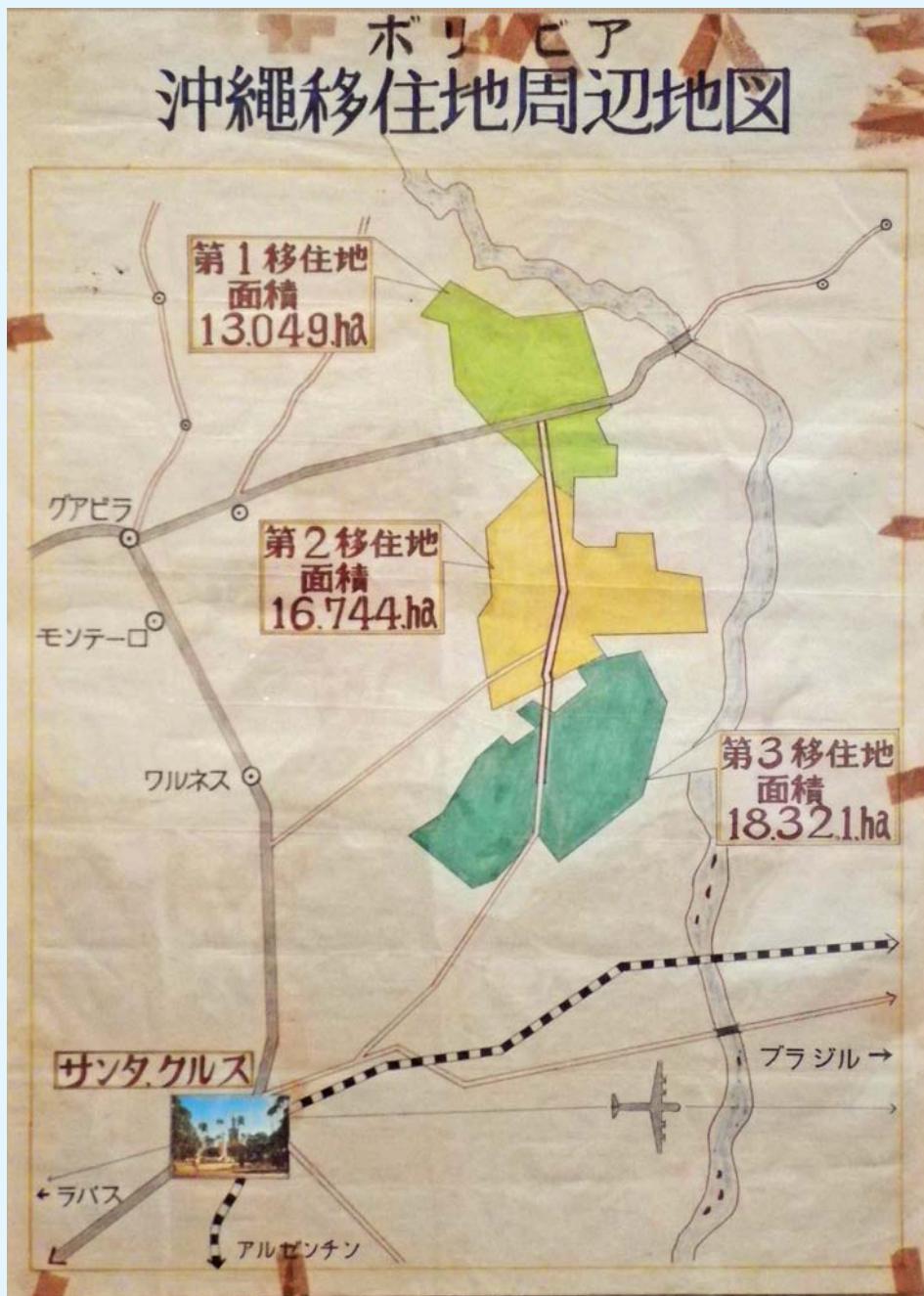
# ARCHIVES

沖縄県公文書館だより 第41号

平成23年8月22日発行

特集

平成23年度 常設展(特別企画)  
在外同胞一世紀を越えた移民たちー



【資料コードR00054213B】

# 新館長 メッセージ



沖縄県公文書館長  
久田 裕

て楽しむ、または懐かしむ、過去を追体験するというよう  
に、「懐しい、興味深い」とい  
う側面がある一方、公文書の  
ように「記録として必要であ  
り、なくては困る」という類  
の特質もあります。そして後々  
には私たちの足跡を後世に伝  
える、という役割をも持ち合  
わせることになるのです。そ  
のために公文書をきちんと残

し、伝えるという世代を超えた「公益性」が公文書館には求められていると考えます。

沖縄県公文書館の資料収集  
評価選別、整理、利用普及に関する取り組みは、国内の公文書館においても、一定の評価を得られるまでになつていま  
す。

国においては今年四月一日から「公文書管理法」が施行されており、地方自治体でも法

律の理念を受けた対応が加速されることが予想されます。

化してありますか。これら  
の変化に適切に対応すると  
もに、変わることのない公文  
書館としての普遍的な使命、

意義は常に念頭において努力していきたいと考えています。県民の皆様には、公文書館の

存在を理解していただき、それぞれの目的に応じて気軽にご利用していただきますようお願い申し上げます。

存在を理解していただき、それぞれの目的に応じて気軽に

利用していただきますようお願い申し上げます。

七月八日（金）、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会と沖縄県公文書館の共催による、平成23年度公文書館機能普及セミナーが沖縄が開催され、県内外から七十七名の方々が参加されました。内容は次のとおりです。

- ・公文書管理の現場からいま

私たちができること  
札幌市文化資料室 竹内 啓

報告：評価選別 シリーズ評  
価選別と基準表選別について  
(公財)沖縄県文化振興会

富永一也

沖縄県内市町村の事例報告  
北谷町公文書館 外間より子

沖縄市総務部総務課市史編集担当 恩河 尚

・LA連携の可能性・公文書館機能と図書館資源・恩納村教

育委員会 呉屋美奈子  
報告：実践的保存 ～まずは始めてみる！～

外務省外交史料館柳下宙子  
各機関で取り組んでいる多様

な業務を事例として報告していただきたり、それらを踏まえて是言を行うなど、公文書館管理

拙言不律が、公文書館管理の実践に参考となる充実した講演会となりました。

この講演会の模様はスカイプをとおしてライブでネット配信

職場體驗



初日

南風原町・南星中学校一年の金垣 麻衣さん 仲地楓さんの二人が七月十三日から十五日までの三日間、公文書館での仕事を体験しました。初めて目にする公立書中身は難しかったようですが資料の搬入や書庫での資料出納をしました。楽しかった。またお母さんの誕生日の新聞で修復作業など、力仕事や実際の作業は興味深く取り組んでいました。お母さんにも見せてあげてね。

A photograph of a lecture hall or conference room. In the center, a man stands at a podium with a microphone, gesturing with his hands as if speaking. Behind him is a large projection screen displaying Japanese text. In front of him, several rows of wooden desks are arranged, with people seated facing the speaker. The room has a modern feel with large windows and a polished floor.

アーカイブズ フラッシュ

# 平成23年度 常設展（特別企画）

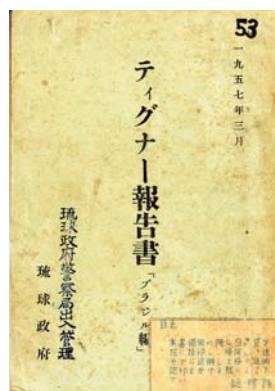
## 在外同胞 一世紀を越えた移民たち—

今年10月、第5回世界のウチナーンチュ大会が開催されるにあたり、沖縄県公文書館で所蔵する海外移住関係資料をご紹介します。

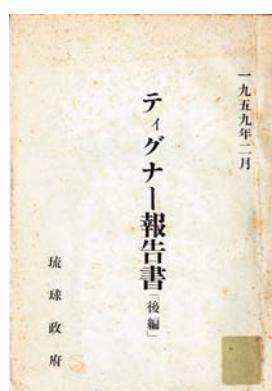
1900年、沖縄初の移民としてハワイに到着したのはわずか26人でしたが、現在海外に住む沖縄県系人はおよそ40万人になるといわれています。厳しい社会情勢や自然災害など様々な困難に立ち向かい、そして沖縄への思いをかたちにしてきた移民たちの足跡は資料のなかにも残されています。沖縄の苦しい時代に遠くから手を差しのべたかつての人々に感謝し、もうひとつの故郷、沖縄に集おうとする新世代移民を歓迎したいと思います。

### ～琉球政府農林局移住課等資料より～

#### 戦後 移住のはじまり



ティグナー報告書 ブラジル編  
1957年(昭和32年)



ティグナー報告書 後編  
1959(昭和34年)

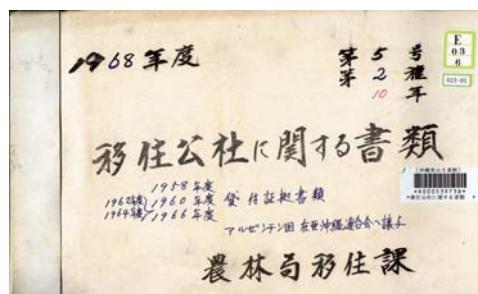
ティグナー報告書とは \_\_\_\_\_  
1951～52年、米国スタンフォード大学のJ.L. ティグナー博士が米国政府の依頼により行った南米の沖縄移住地調査の報告書。博士は現地における県人移民を高く評価し、更なる移住促進を米国民政府及び琉球政府に提言した。両政府はこれを受けて移民金庫を設立、移住政策を強化した



移民使節からブラジル大統領への移民促進要請陳述書

1954(昭和29年)

ティグナー報告を受け、移民金庫の設立等、移民送出の基盤を整えた政府は移民受入れの陳情使節を南米に派遣、更なる移住促進を図った



琉球海外移住公社貸付証拠書類  
1968(昭和43年)  
移民金庫による移住資金貸付簿

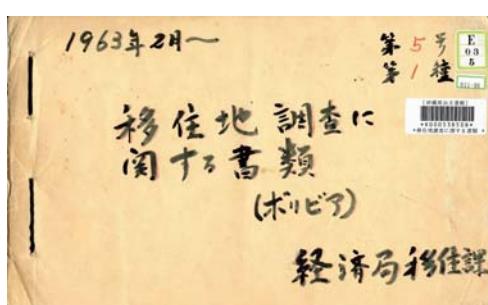


移住者の教養訓練関係

1967(昭和42年)

南米移住予定者を対象とした研修に関する文書。言語や歴史、地理、生活様式、救急の知識、戸籍法等、多岐にわたる内容となっている

#### 移住地の様相



移住地調査関係 ポリビア

1963(昭和38年)  
ポリビアの移住地における調査報告。  
耕地配分や農業協同組合、住居や児童生徒の就学状況等、様々な項目の  
調査結果がみられる



ブラジルカッペン移住地の様子

## 支援 沖縄から



## ボリビア国水害関係

1968(昭和43)年

豪雨被害にあった沖縄第一コロニアの救援に関する文書。沖縄では救援協議会が発足、募金活動等が行われた

事務委託補助金関係 ブラジル  
サンツス会館補助金

1967(昭和42)年

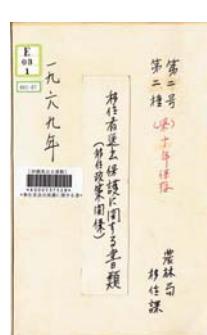
海外移住奨励補助金により完成した在伯沖縄サンツス支部会館

ペルー沖縄人会への贈呈品  
関係書類

1965(昭和40)年

ペルー沖縄人会館における展示品贈呈に関する文書。織物等の工芸品の他、泡盛や豚味噌缶といった郷土の懐かしい味も添えられた

## 支援 移住地から



## 移住者送出保護関係 他

1969(昭和44)年

移住した人々から沖縄への送金は1963年～68年の年平均で420万ドル余と記されている

## 明 暗



## 国援法帰国者関係

1968(昭和43)年

移住後、様々な理由により国援法（日本政府が生活困窮に陥った在外邦人の帰国に対して費用を貸し付ける制度）の適用を受けて帰国する人々に関する文書



## 雑書

1967(昭和42)年

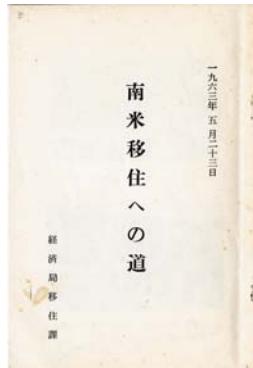
1908(明治41)年ブラジルへ渡った金城盛吉、島袋カマ両氏への勲六等瑞宝章授与に関する文書

## 海外移住関係刊行物



## 雄飛 第4号

1952(昭和27)年 沖縄海外協会



## 南米移住への道

1963(昭和38)年 琉球政府経済局移住課



## 海外移住読本 南伯雇用・技術移住

1966(昭和41)年 琉球政府農林局移住課



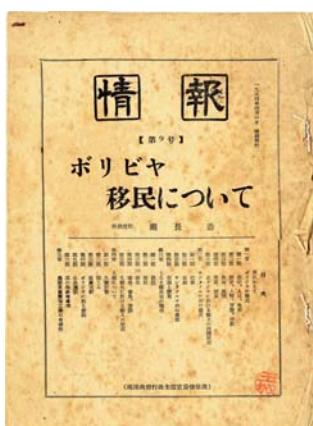
## 南鵬 第2巻第1号

1926(大正15)年 沖縄県海外協会



## ニュース海外移住

1963(昭和38)年 琉球海外移住公社



## 情報 ボリビヤ移民について

1954(昭和29)年4月1日 琉球政府行政主席  
官房情報課

この年の1月、使節として南米へ派遣された後の行政副主席、瀬長浩による報告書

## 湧川清栄資料より

(「戦争と移民」のなかに一部、比嘉太郎資料を含む)

### 湧川清栄とは

ハワイ移民一世。1908年、今帰仁村に生まれ、12歳のとき、兄の呼び寄せでハワイに渡りました。ハワイ大学、東京大学で学び、ハワイタイムス編集局長、日本総領事館顧問を務め、シカゴ大学やハーバード大学で教鞭をとるなど、教育者としても活躍しました。ハワイ沖縄県人会設立への取り組みや沖縄救済活動、琉球大学設立の働きかけなど、沖縄の戦後復興や教育にも力を尽くしました。

1947年に発表した論文「日本の小作制度」が、占領軍総司令官マッカーサーの目にとまり、米国による戦後日本の農地改革に大きな役割を果たしました。

氏が所蔵していた資料は、1991年、その死去の後、2003年、夫人の勢津子さんにより当館に寄贈されました。

### 新天地へ



海外旅券下付表01

複製(全61冊)

(原本:外務省外交史料館)  
明治32年から昭和16年までの日本における海外移民の名簿



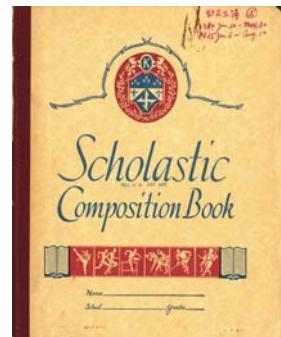
海外移民周施業広告

1907(明治40)年頃



海外渡航に関する状況書

1905(明治38)年頃  
明治期における日本人の海外移住の概要が記されている



移民名簿 3

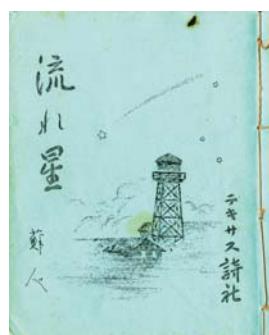
1900~12(明治33~45)年  
ハワイ到着と思われる日付・乗船した船名ごとの移民名が記されている

### 戦争と移民



排日啓發運動

アメリカ本土で始まった排日運動がハワイでも広がった。これを受け1921年に行われた排日予防啓發運動の記録



流れ星(歌集)

1945(昭和20)年 テキサス詩社会  
米国テキサス州クリスタルシティ(と思われる)収容所でまとめられた短歌集。沖縄系移民によると思われる三首もみられる



日系兵関係(比嘉太郎資料より)  
日系兵たちのその後

第二次世界大戦中、反日感情が高まる中多くの日系二世が志願兵として従軍、犠牲者も多数でした。その彼らの戦死や活動を伝える新聞記事。米国政府は2010年、二世部隊に対して、議会名誉黄金勲章を授与した



日本人收容所(サンタフェ)人名録

1943(昭和18)年

米国ニューメキシコ州、サンタフェ日本人收容所の名簿。同州地理や歴史等の情報を伝える他、食糧部、住居部等、様々な役割を配し、組織的な努力がうかがえる

## 沖縄を救え



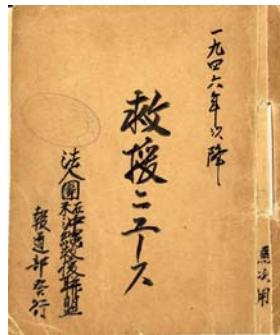
琉球大学より  
奨学基金募集の通知書

1965(昭和40)年

琉球大学ファウンディションが奨学基金への寄付を募るために、カリフォルニア、ミシガン、ハワイの県人会に宛てた文書



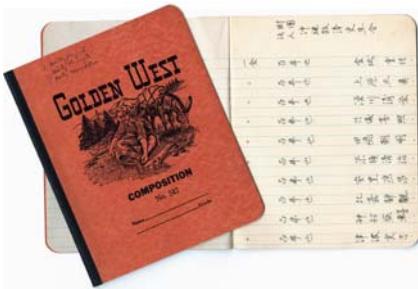
更生沖縄 会報 第4号  
在米沖縄復興連盟会 会報 第1号・第2号  
1949~51(昭和24~26)年



救援ニース

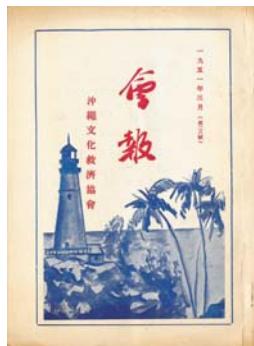
1946~47(昭和21~22)年

米国各地の沖縄県人会で結成された、在米沖縄救援連盟(後に在米沖縄復興連盟と改められた)の機関誌



寄付金ノート

沖縄救済更生会に寄せられた寄付金リスト。  
100ドルという高額寄付が並んでいる



会報 28号

1951(昭和26)年 沖縄文化救済協会  
ブラジルにあった沖縄文化救済協会機関誌。志喜屋孝信知事から寄せられた崇元寺石門修復のための寄付依頼や東恩納覚悟をはじめとする人々からの寄稿文がある



沖縄救済更生会趣意書

1949(昭和24)年

戦後復興は教育から、と沖縄における大学創設を目標に掲げた

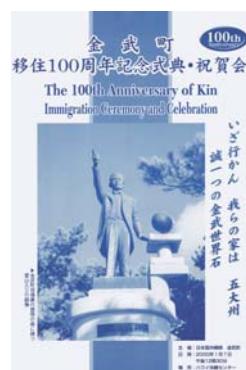
## 新移民時代



沖縄祖国復帰記念祝賀会/  
沖縄県人移民75周年屋良朝苗  
来布関連資料

1972~75(昭和47~50)年

沖縄から遠く離れたハワイでも祖国復帰を祝った。祝賀会は時差を考慮して現地の5月14日に執り行われたと思われる。また、1975年1月に開催された沖縄県人移民75周年祝賀会には当時の屋良知事が出席、母県とのつながりの強さがうかがえる



當山久三記念式典建立式資料

2000(平成12)年

金武町移住百周年記念式典リーフレット。金武町からハワイへは、移民の父、當山久三の銅像が送られ、當山の亀甲墓を設置する等、その功績を讃えるとともに移住百周年を盛大に祝った



北米沖縄人会ニュースレター  
1998年9月号 1998(平成10)年  
北米人会の活発な活動の様子や他の県人会、母県との交流の様子が記されている



高江洲敏子 Toshiko Takaizu 関係資料

ハワイ生まれの二世。ニュージャージー州に住む彫刻・陶芸家、トシコ・タカエズ関係資料。その世界的活動が認められ昨年、紳綏褒章が授与された



# 展示目録

琉球政府農林局移住課文書等より			
コード	資料タイトル	資料コード	
戦後 移住の始まり	1 ティグナー報告書 ブラジル編	G99900007B	
	2 ティグナー報告書 後編	G80000153B	
	3 琉球海外移住公社貸付証拠書類	R00053973B	
	4 移民使節からブラジル大統領への移民促進要請陳述書	R00053765B	
	5 移住者の教養訓練関係	R00053759B	
移住地の様相	6 移住地調査関係 ポリビア	R00053850B	
	7 参考資料【ブラジル カッペン移住地の様子】	R00054231B	
	8 ポリビア国水害関係	R00053764B	
支援: 沖縄から	9 事務委託補助金関係 ブラジル サントス会館補助金	R00053846B	
	10 ペルー沖縄人会への贈呈品関係書類	R00054216B	
支援: 移住地から	11 移住者送出保護関係他 【移民から沖縄への送金】	R00053752B	
明 暗	12 国援法帰國者関係	R00054031B	
	13 雜書 【移民への紫綬褒章授与関係】	R00054222B	
海外 移住 関係 刊行物	14 南鶴 第2巻第1号	0000064967	
	15 雄飛 第04号	T00020980B	
	16 南米移住への道	G80002774B	
	17 参考資料 【情報 ポリビア移住について】	R00054231B	
	18 ニュース海外移住	0000065901	
	19 海外移住読本 南伯雇用・技術移住	G80000643B	

湧川清栄資料等より			
コード	資料タイトル	資料コード	
新 天 地 へ	20 海外旅券下付表 【原本所蔵 外務省外交史料館】	0000060695	
	21 移民名簿 3 1900年3月～1912年11月	0000050607	
	22 海外移民斡旋業公告	0000064981	
戦 争 と 移 民	23 海外渡航に関する状況書	0000064976	
	24 排日予防啓発運動	0000064985	
	25 日本人收容所 サンタフェ 人名録	0000061346	
	26 流れ星 (日系人が收容所で詠んだ歌集)	0000061345	
	27 日系兵関係 【比嘉太郎資料より】	0000063149	
	28 日系兵のその後について 【比嘉太郎資料より】	0000063212	
沖 縄 を 救 え	29 救援ニュース	T00011810B	
	30 琉球大学より奨学基金募集の通知書	0000050646	
	31 沖縄救済更生会趣意書 他	0000061335	
	32 更生沖縄 会報 第4号 在米沖縄復興連盟会 会報 第1号・第2号	0000061339	
	33 寄付金ノート	0000050734	
	34 会報 創刊号 (在伯 沖縄文化救済協会機関誌)	0000064983	
新 移 民 時 代	35 沖縄県人移民75周年屋良朝苗来布連資料	0000061336	
	36 當山久三記念式典建立式ほか	0000061320	
	37 北米沖縄県人会ニュースレター 1998年9月号	0000061322	
	38 高江洲敏子Toshiko Takaizu関係資料	0000050124	
大型 資料	39 南米移住者募集ポスター	R00054241B	
	40 海外移住に関する書類 【沖縄移住地周辺地図】	R00054213B	
	41 Hawaii Times 【沖縄救援関係】	T00020740B	

## 平成23年度 常設展 特別企画

### ハワイ



ハワイ沖縄連合会館



ハワイ島ヒロ市 又吉病院



日系初回移民が植樹したワイキキの松林

沖縄戦民救難品荷造りを終えて  
1945年12月15日

### 南米



ボリビア第二コロニアで行われた運動会

呼寄移民 琉球政府移住  
あっせん所での研修を終えて第一コロニアの子供達  
通学は馬で7キロの道

ボリビア沖縄移住地内の養豚風景

ボリビア第一移住地 陸稻の種まき  
小禄出身の赤嶺太郎氏の妻と妹島袋カマ ブラジル第一回移民  
美里村出身

# 新規公開資料

今年四月から六月の間に整理、公開した資料をご紹介します。

## 沖縄県文書

八九八簿冊を整理、公開しました。

- 1 沖縄の復帰に伴う琉球政府職員の仮給与計算及び実態調査に関する文書(二八〇簿冊)

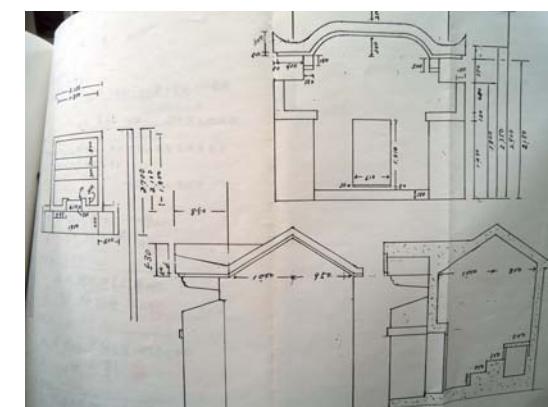
- 2 沖縄の復帰時における県教職員の給与実態調査に関する文書(二四簿冊)

- 3 沖縄の復帰に伴う職員の身分引継ぎに関する文書(三二簿冊)

- 4 不発弾等処理事業の報告に関する文書(二九七簿冊)

- 5 在日米軍の水面使用に伴う漁船の操業制限等に対する損失補償に関する文書(四五簿冊)

- 6 墓地等の経営許可に関する文書(二二〇簿冊)



墓地等経営許可申請に添付された図面

1～3は、沖縄が戦後二十七年間、米軍の統治下にあったため、昭和四七年の施政権返還に際しては、日本本土の制度との調整を必要としたことから作成された文書です。4は沖縄戦、5はその後の歴史の「遺産」ともいべき事業にかかるもの。6は民俗的な意味でも興味深い文書です。



不発弾処理事業報告に添付された写真

## 屋良朝苗日誌

琉球政府行政主席（昭和四三年～四七年）、沖縄県知事（昭和四七年～五年）を歴任した屋良朝苗の残した一二六冊の日誌やメモ帳です。昨年度から公開を始め、年度末までに三四冊を公開しました。今年度はこれまでに一五冊を整理、公開し、引き続き残りの資料を整理しています。

## マッカーサー記念館所蔵文書

当館が米ヴァージニア州ノーフォーク市マッカーサー記念館から紙コ



収容所の米軍病院テントにて  
1944年7月  
(サイパン関係写真)

## サイパン関係写真

米国国立公文書館から収集した第二次世界大戦中のサイパン戦とその後のサイパン関係写真三九枚を公開しました。これらの資料には、戦争を生きのびた子どもたちや、倒れていく兵士の姿が映し出されています。

ビーやマイクロフィルムで複製収集した資料一〇八件を整理、公開しました。収集にあたっては、マッカーサーが米国太平洋陸軍最高司令官として沖縄を統治していた時代に関するものを中心に選択しましたが、同時期の日本本土やフィリピン、朝鮮に関する資料も多く含まれています。

## 利用案内

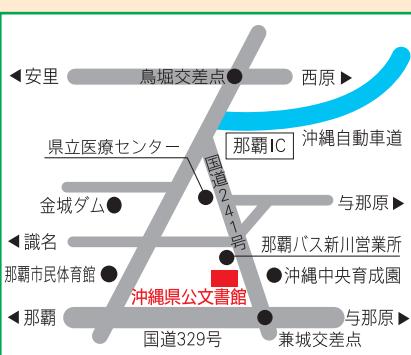
### 入館 入館無料

開館時間 午前9時から午後5時まで  
(閲覧・複写の申請は午後4時30分まで)

休館日 月曜日、国民の祝日である休日、慰霊の日、年末年始12月29日から1月3日  
\*土・日は国民の祝日及び慰霊の日でない限り開館しています。

- ・お探しの資料がありましたらお気軽に閲覧室にお尋ね下さい。電話やFAXでのお問い合わせもどうぞ。
- ・参考資料室の資料や空中写真システムは、閲覧申請なしでご利用いただけます。
- ・書庫の資料を閲覧する際は、「利用証」の作成が必要となります。利用証は、現住所が確認できる身分証明書（運転免許証や保険証など）をご提示いただければすぐ作成できます。利用証は、発行から1年間有効です。
- ・閲覧室での筆記用具は鉛筆をご使用ください。
- ・鞄や袋類はロッカーにお預けください。(百円硬貨が必要ですが、使用後は返金されます)
- ・資料の館外貸出は原則として行っていません。閲覧および複写でご利用下さい。複写は実費が必要です。

## 交通案内



### バスのご案内

- ・那覇バス(株) 1・2・3・5・14・15・16番線 新川営業所下車 1分
- ・東陽バス(株) 91番線 新川バス停下車 1分